



例会日/第1・第3木曜日 12:30
 例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111
 事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F
 TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722
 e-mail office@n-heisei.org
<http://www.n-heisei.org/>

第1332回例会 平成30年5月10日(木)

- 本日の例会プログラム クラブ協議会
- ◎次回例会プログラム 卓話「保険について」
株式会社 スマイルミライズ
代表取締役 近藤竜二氏



前回(1331回例会)の記録 平成30年4月19日(木)

■ゲスト	■出席報告
	会員数 21名
	免除者数 3名
■ビジター	対象者数 18名
	本日出席者 14名
	欠席者数 4名
	出席率 77.77%

■1330回出席報告の修正
 1330回欠席者 5名
 メイクアップ 2名
 欠席者 3名
 修正出席率 73.68% → **84.21%**

●メイクアップ
 加来会員(中津中央 4/10)
 辛島会員(ワールド大阪 4/19)

●欠席者
 釈倉会員、土居会員、矢頭会員

◎ロータリーソング それでこそロータリー

◎会長の時間 黒瀬会長

皆さんこんばんは。

本日は大変お忙しい中を中津市副市長の前田様にお越しいただき誠にありがとうございます。

皆様もご存知のように4月11日早朝に耶馬溪町で山崩れが発生し大変な事態になっております。今だ数名の住民の方が見つからず、昼夜を問わず捜索に尽力を注いでいただいております。私は今の耶馬溪をテレビの画面からしかわかりません。専門家が地質の特徴を話されておりましたが、山沿いに住まわれている方は大勢います。来週からもまた本降りの雨が降るようですし、梅雨という時期がやってきます。二度と同じような災害が起こらないよう祈るばかりです。



話は変わりますが、今年度1月号のロータリーの友に企業人のための危機管理という記事がありました。危機管理というものは自然災害とは違い、じわじわと、何か一つのことから始まる事が多く、「英語で話しかけられた」ときのように、突然な事に出くわしたときに、どう自分が身構えるか。それによって、全ての対処が変わってくる。どの様な危機も、最初を見極める「最初の一つ」が肝要と言うことです。次に何か危機が存在したとしても、必ず正対して構えないこと。そして記録すること。これは全ての危機管理に通用することで、最後に心で動き、心で判断することです。

◎幹事報告 永松幹事

●例会変更

中津中央RC→5/1(火)休会
 日出RC、湯布院RC、竹田RC、大分



RC、大分東RC、大分臨海RC、大分南RC、大分中央RC、大分1985RC、大分城西RC

●週報受理 熊本平成RC、宇佐八幡RC、杵築RC、湯布院RC

●幹事報告

- ・ロータリー情報冊子のご案内
- ・中津市暴力絶滅市民会議会長表彰の推薦について依頼
- ・2017～2018年度 R L I パートII開催のご案内
- ・ハイライトよねやま217号
- ・RYLAセミナー報告書

◎ニコニコボックス

【永松幹事】本日のニコニコは耶馬溪土砂災害の義援金にしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【川田会員】土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。

【鑑坂会員】私も耶馬溪出身です。ご冥福お祈り申し上げます。

【佐藤会員】私も耶馬溪出身です。何か一つでも出来ることをしたいと思います。

【中島会員】土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。最近ロータリーで熊本に行く機会が多くなりました。

【黒瀬会長】土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。

【加来会員】土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。二次災害が起きないことを願っています。

【長野(修)会員】土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。本日は前田副市長、ご多忙の中ありがとうございます。

【矢頭会員】一年前に北部豪雨災害がありまして、今年も土砂災害があり、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

【二反田会員】何千年、何万年の歳月でのこの土砂災害に胸を痛めています。土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。

【梶原会員】雨も降ってなくて、今回の土砂災害には驚いています。ご冥福をお祈り申し上げます。

【辛島会員】皆さんたくさんのニコニコありがとうございます。土砂災害で亡くなった方のご冥福をお祈りします。

◎ゲスト卓話

「中津市新年度の計画について」

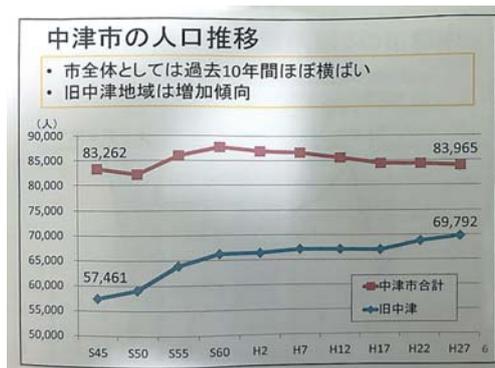
中津市副市長 前田良猛氏

本日は、中津市副市長前田様に中津市の新年度計画と、市政の現状を卓話して頂きました。



目次

- I 改めて人口減少・高齢化社会とは
- II 平成30年度の方針と予算は
- III 安心・元気・未来づくりの政策は
- IV 自立と持続可能なまちへ



- 自助努力と連携強化
- ・自主財源を確保し、住民に近い仕事は市が責任を持って実行！
 - ・政策市役所となるため職員の資質向上を図る！
 - ・市民に対するサービスは、国・県・市が連携し、総体として実行！
 - ・市民・事業所などあらゆる主体の参加・連携・結集を！

